

読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

岡山市の企業が、市中心部を電動アシスト三輪自転車で案内する観光サービスを始めました。記事を読み質問に答えましょう。

てい がく ねん
低学年も
チャレンジ!

Q1

電動アシスト三輪自転車は、便利さや環境面の効果などから注目されている乗り物です。お客さんにアピールできるサービスの名前を考えてみましょう。

Q2

記事には料金も書かれています。2人で2キロの距離を乗った場合、料金はいくらになりますか。記事の情報を基に、計算してみましょう。

Q3

新サービスでは、主にJR岡山駅から後楽園周辺を巡回します。案内するスポットとしてどんな所を考えていますか。記事から探し、二つ以上答えてみよう。



後楽園周辺を巡る天満屋の電動アシスト三輪自転車

後楽園周辺を巡る天満屋の電動アシスト三輪自転車は、雨や暑い日でも快適に利用できる。料金もリーズナブルで、観光客や地元住民からの利用が期待されている。また、環境に優しいという点も大きな魅力となっている。

電動三輪車で街案内

天満屋、サービス開始

岡山市中心部

天満屋(岡山市北区表町) 客や市街地の回遊性向上には8日、新たな事業として、つなげる。電動アシスト三輪自転車で、フランス製の車両(乗客同市中心部を案内する観光 定員2人)を3台導入し、交通サービスを始めた。観 主にJR岡山駅から後楽園光客や地元住民らの利用を 周辺を巡回する。利用者は見込み、岡山県外からの誘 タクシーのように呼び止

度で選ばれた新規事業の一つ。昨春に車両1台で30日間の実証実験を行ったところ、想定を上回る県内外の約350人が乗車した。風が感じられる乗り心地も好評だったことから事業化を決めた。運転手は事業を発案した新規事業部の野村拓毅部長(39)やアルバイトスタッフ(岡村綾乃)が務める。ガイドブックに載っていないような人気の飲食店、地元には伝わる歴史文化、街角アートなどを案内し、月千人の利用を目指す。野村部長は「後楽園や岡山城だけでなく、より深いローカルの魅力に触れてほしい」と話している。

2024年4月9日付、地方経済面

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。

過去の問題は
こちらから▶▶

